

## 開催報告

国際シンポジウム題名	京都大学国際シンポジウム「自然は考えるのか？」	
開催日	令和1年6月6日～ 令和1年6月8日（3日間）	
主催部局	文学研究科	
協力部局名		
開催地	国名	フランス
	開催地	パリ
	会場名	UNESCO（6月6日、7日）、パリ日本文化会館（6月8日）
共催大学・機関名	総合地球環境学研究所、UNESCO、パリ日本文化会館、国際花と緑の博覧会記念協会、フランス国立社会科学高等研究院、パリ国立高等鉱業学校	
シンポジウム開催概要	<p>人間をとりまく環境は、地球規模的にもはや楽観視できる状態にはない。人間は自然との付き合い方を根本的に見直すべき時にきている。フランスの風土学者(specialist of the Studies of human milieu)、Augustin Berque が「自然は考えるのか？」という奇妙な問いを、シンポジウムのテーマとして発案した。シンポジウムは、人間が優位に立つ西洋の近代的な自然観を再検討することを目的とする。26名の諸分野の研究者(人類学、風土学、哲学、仏教学、人間環境学、霊長類学、農学、海洋学、法学、美術史学等)、および自然に対面し自然と共創する実践家が集い、人間と自然、生物、植物、それらの関係性、生命、環境という一連の問題について、間文化的、学際的に議論した。</p> <p>3日間のシンポジウムのサブテーマは以下の通りである。</p> <p>6月6日「風土と環境」</p> <p>7日「自然を表象する、語る」</p> <p>8日「生物の感性的知」</p>	
シンポジウム開催報告を掲載しているホームページ	<p><a href="http://nihontetsugaku-kyoto-2.site/">http://nihontetsugaku-kyoto-2.site/</a></p> <p><a href="https://www.mcjp.fr/ja/la-mcjp/actualites/la-nature-pense-t-elle">https://www.mcjp.fr/ja/la-mcjp/actualites/la-nature-pense-t-elle</a></p> <p><a href="https://www.ehess.fr/fr/colloque/nature-pense-t-elle">https://www.ehess.fr/fr/colloque/nature-pense-t-elle</a></p> <p><a href="https://www.crc.mines-paristech.fr/fr/focus/la-nature-pense-t-elle/">https://www.crc.mines-paristech.fr/fr/focus/la-nature-pense-t-elle/</a></p>	
参加者数(聴衆を含む)	100人	